

東証(TSE):6264

**株式会社マルマエ**  
**2025年8月期 第2四半期（中間期）決算補足資料**

2025年4月4日

**総合力で未来を拓く**  
半導体・FPD製造装置 真空パーツメーカー



# 1. 決算概要

## ご報告

### 開示項目の見直し

2025年8月期第2四半期累計期間より、四半期ごとの受注高及び受注残高実績の開示を廃止します。

### 見直しの理由

四半期ごとの受注額と受注残高は、短期的な要因によって変動しやすいため、これらの開示項目は中長期の事業価値と合致しないとの結論に至りました。

今後につきましては、受注状況等は定性的なコメントにとどめ、より長期的な視点に立った情報開示を強化していく考えでありますので、ご理解をお願いいたします。

# 1. 決算概要

## PL分析

PL

	2024年8月期 第2四半期累計期間		2025年8月期 第2四半期累計期間		対前年同期 増減率 (%)
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)	
売上高	2,040	100.0	3,911	100.0	91.7
売上原価	1,793	87.9	2,564	65.6	43.0
売上総利益	246	12.1	1,346	34.4	445.8
販売管理費	325	16.0	393	10.1	20.9
営業利益	△78	△3.9	952	24.4	—
経常利益	△134	△6.6	944	24.1	—
特別損益	0	0.0	—	—	—
当期純利益	△101	△5.0	664	17.0	—
EPS (円)	△8.06	—	52.48	—	—

Point

### ①売上高

- 対前年同期91.7%の増加  
(分野別の詳細は次頁)

### ②売上原価

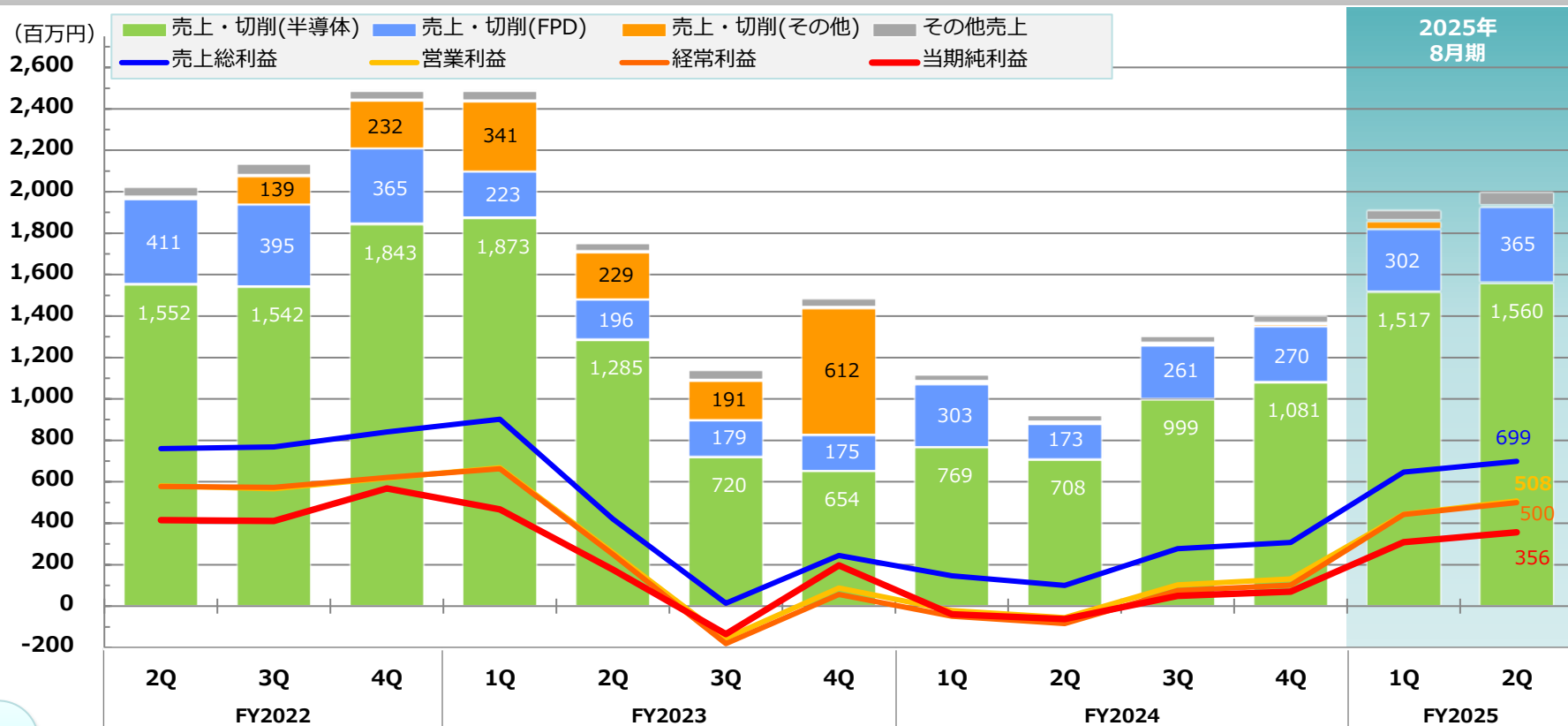
- 材料費：680百万円  
(対前年同期：134.5%増)
- 外注加工費：506百万円  
(対前年同期：139.8%増)
- 労務費：807百万円  
(対前年同期：30.9%増)
- 減価償却費：407百万円  
(対前年同期：2.3%増)

### ③販売管理費

- 販管人件費：225百万円  
(対前年同期：42.3%増)
- 租税公課：26百万円  
(対前年同期：137.4%増)

# 1. 決算概要

## 四半期業績の推移



Point

### ①売上高は、半導体分野拡大傾向継続

- 半導体分野：3,077百万円（対前年同期：108.2%増）
  - ・消耗品受注拡大継続、新規も順調
- FPD分野：668百万円（対前年同期：40.3%増）
  - ・OLED向けが好調で売上堅調

- その他分野：48百万円（対前年同期：141.7%増）
  - ・生産能力に余力なく新たな動きなし

### ②損益面は売上回復と稼働率改善等で改善顕著

- ・前期末比で受注損失引当金等は50百万円減少（改善）
- ・設備投資と人員採用をこなし増益

※グラフは四半期毎の会計期間の数値ですが、Pointのコメントは当期の累計期間の数値となっております。

# 1. 決算概要

## B/S分析

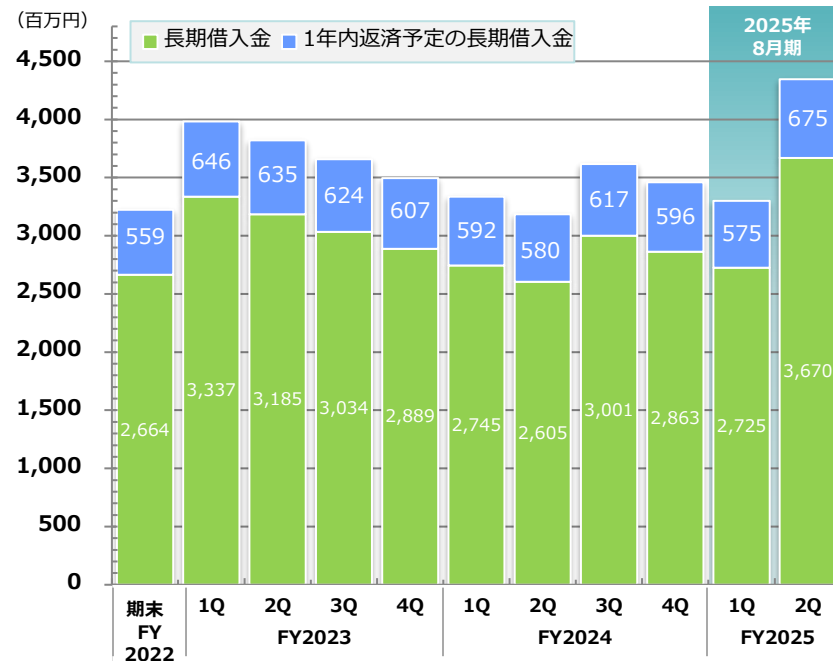
B/S

	2024年8月期 会計年度末 (百万円)	2025年8月期 第2四半期末 (百万円)
流動資産	5,572	7,202
現金及び預金	3,028	3,713
売上債権 (受取手形・売掛金・電子記録債権)	1,591	2,364
棚卸資産	826	1,089
固定資産	5,891	5,939
建物・土地	2,453	2,407
機械及び装置	2,638	2,652
流動負債	1,348	1,793
有利子負債(短期)※	596	675
固定負債	2,952	3,761
長期借入金	2,863	3,670
負債合計	4,300	5,554
純資産合計	7,163	7,586
総資産	11,464	13,141

※ 有利子負債(短期)：短期借入金+1年内返済予定の長期借入金

Point

- ① **資産：13,141百万円(前期末比:1,677百万円増加)**
  - ・売上債権：772百万円増加
  - ・現金及び預金：685百万円増加
- ② **負債：5,554百万円(前期末比:1,254百万円増加)**
  - ・長期借入金：806百万円増加
  - ・未払法人税等：330百万円増加
- ③ **純資産：7,586百万円(前期末比:423百万円増加)**
  - ・配当金の支払い：253百万円
  - ・中間純利益の計上：664百万円
  - ・自己資本比率：62.5% → 57.7%



## 2. 事業環境

### 今後の販売分野別の環境と方針等

#### 半導体分野

- ◆ 消耗品過剰在庫が解消し受注回復継続
- ◆ 半導体装置は若干停滞も、当社は新品種と消耗品で好調継続
- ◆ アメリカのアルミ関税の影響を検証中も、影響少ない見込

#### F P D 分野

- ◆ IT機器向けG8 OLED設備投資好調。G10計画再開
- ◆ 生産平準化のため、計画前倒しによる生産継続
- ◆ EBW活かしたシェア拡大戦略継続

#### その他分野

- ◆ 中国PV ※向けの引き合い続くも不確定
- ◆ 足元は余力不足も新分野への営業検討続ける

※…Photovoltaic（光起発電）の略。太陽光発電のことを指す

# 3. 2025年8月期の業績予想

## 当期の見通し（損益・設備投資・固定費要因）

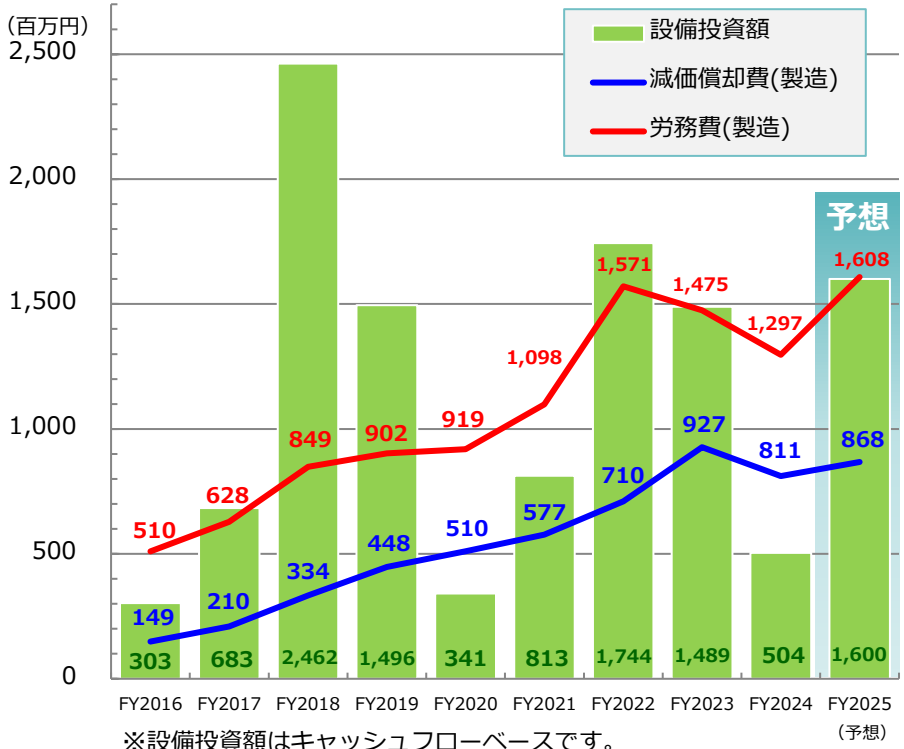
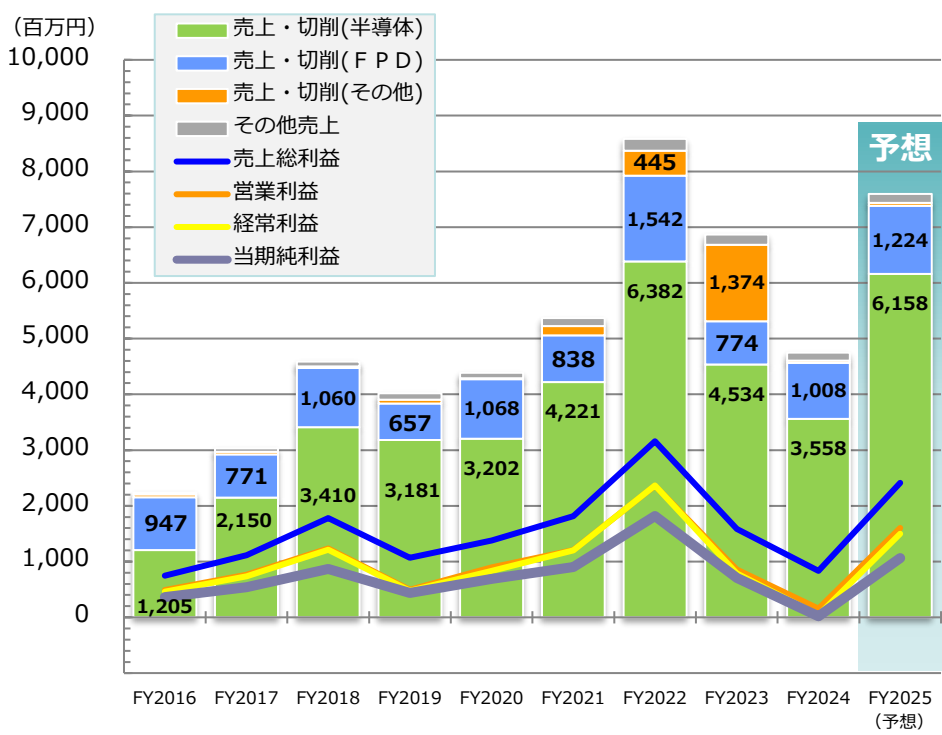
業績  
予想

2025年8月期 業績予想	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	純利益 (百万円)	1株当たり 純利益(円)
通期	7,600	1,600	1,500	1,065	84.16

半導体中心に業績急回復。第3四半期より連結決算へ移行

Point

- ✓ 過剰在庫解消で売上好調継続見通し
- ✓ 全体稼働率も改善。一部設備ひっ迫続く
- ✓ 計画比で増産投資と人員採用前倒し





# 4. M&A

## M&Aの報告

2025年3月4日に「KMアルミニウム株式会社」の株式取得について発表

### ✓ KMアルミニウム株式会社の紹介 (P9~)

#### 【事業概要】

半導体用アルミスパッタリングターゲット材や真空チャンバー素材を得意とする、アルミ素材メーカー

### ✓ 今後の見通しとシナジーについて (P14)



## 経営理念

私たちは、地球上の大切な資源であるアルミニウムを、  
私たちの技術、技能の向上を通じて、より役に立つ姿に変えることにより、  
社会に貢献いたします。

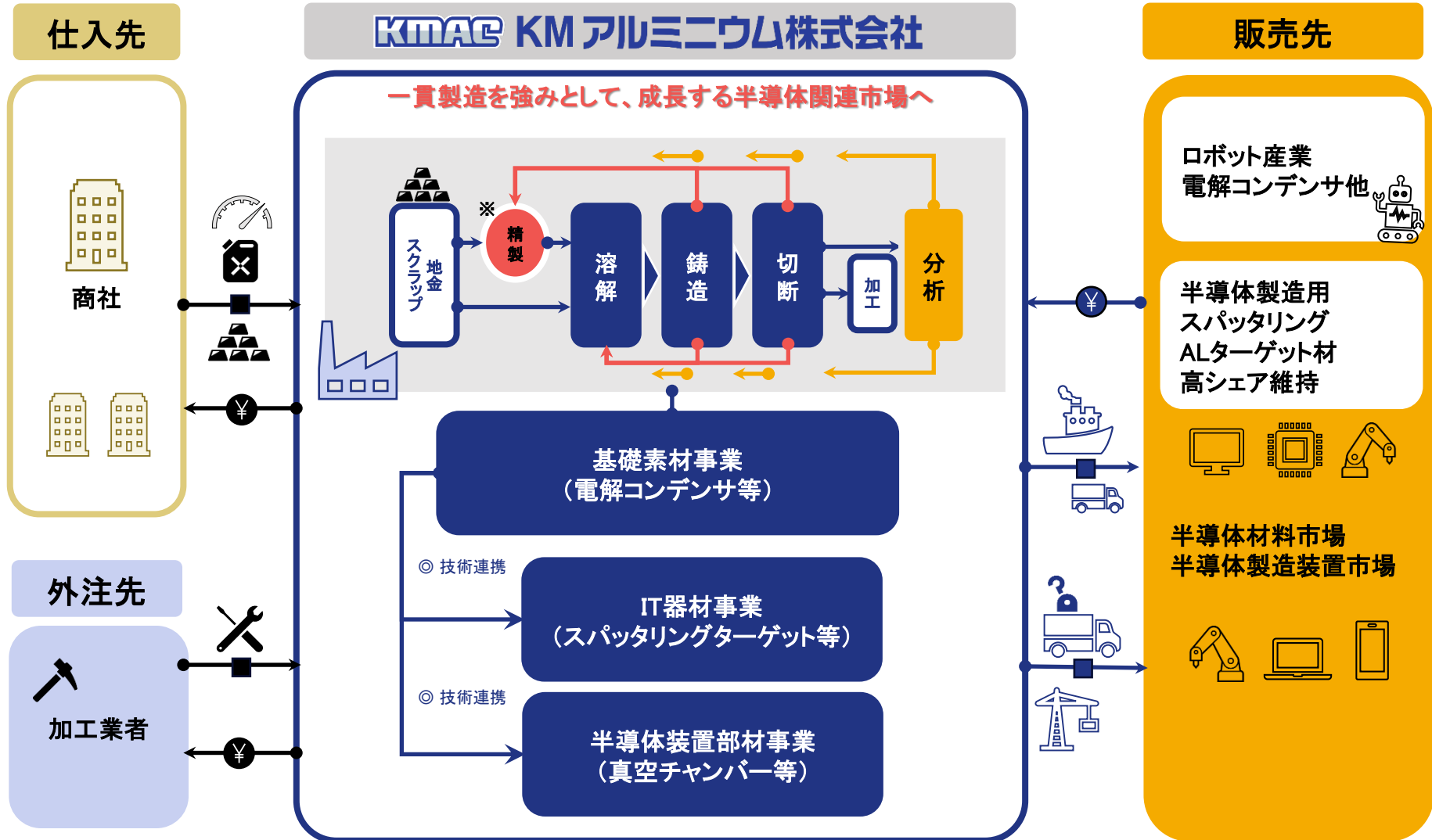
社名	KMアルミニウム株式会社	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ アルミ合金ビレット・スラブ</li> <li>■ 高純度アルミ</li> <li>■ アルミ鋳物用合金</li> <li>■ アルミ鍛造用素材</li> <li>■ アルミ鋳物製品</li> <li>■ 半導体製造装置用部品等の製造・販売</li> </ul>
所在地	〒836-0067 福岡県大牟田市四山町80番地 ■ 本社工場 TEL 0944(53)3590 (代表) FAX 0944(51)7939 ■ 営業部 TEL 0944(54)3781 FAX 0944(54)3782	生産能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ビレット、スラブ 35,000 t/年</li> <li>■ 高純度アルミ 16,000 t/年</li> <li>■ 鋳物用合金 18,000 t/年</li> <li>■ アルミニウム鋳物 2,100 t/年</li> </ul>
資本金	13億64百万円	主要設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ビレット、スラブ製造設備一式</li> <li>■ 高純度製造設備一式</li> <li>■ 鋳物用合金製造設備一式</li> <li>■ 鋳物製造設備一式</li> <li>■ アルマイト設備一式</li> <li>■ 機械加工設備一式</li> <li>■ 分析機器一式</li> </ul>
営業概況	売上高 8,588百万円 (2024年3月期)		
敷地面積	122,830平方メートル		
従業員数	248名 (2024年7月1日現在)		

- 1989年 2月 三井アルミニウム工業(株) 鑄造部門をベースに三井グループの出資により九州三井アルミニウム工業(株)を設立(株主:三井鉱山・三井金属・三井物産・三井東圧化学・三井銀行)。
- 4月 当社、営業開始
- 7月 鑄物グループが、素材事業部から鑄物事業部として独立
- 8月 二次合金の製造販売開始
- 1997年 9月 アルマイトクリーンルーム完成
- 2006年 12月 超高純度(5N)工場完成
- 2007年 6月 鑄物チャンバー用「鑄物第3工場」完成

- 2008年 3月 精製第2工場完成
- 2015年 10月 三井グループ(三井金属鉱業(株)、日本コークス工業(株)、三井化学(株)、(株)三井住友銀行)がケイエムジェイホールディングス(株)の100%子会社であるケイエムジェイホールディングス2(株)へ全株式を譲渡
- 10月 九州三井アルミニウム工業(株)から、KMアルミニウム(株)へ商号変更
- 12月 KMアルミニウム(株)がケイエムジェイホールディングス2(株)を吸収合併
- 2020年 12月 鑄物チャンバー用「鑄物第4工場」完成
- 10月 超高純度アルミ専用溶解炉導入
- 2023年 1月 当社を存続会社とし、ケイエムジェイホールディングス(株)を吸収合併

# 当社事業モデル

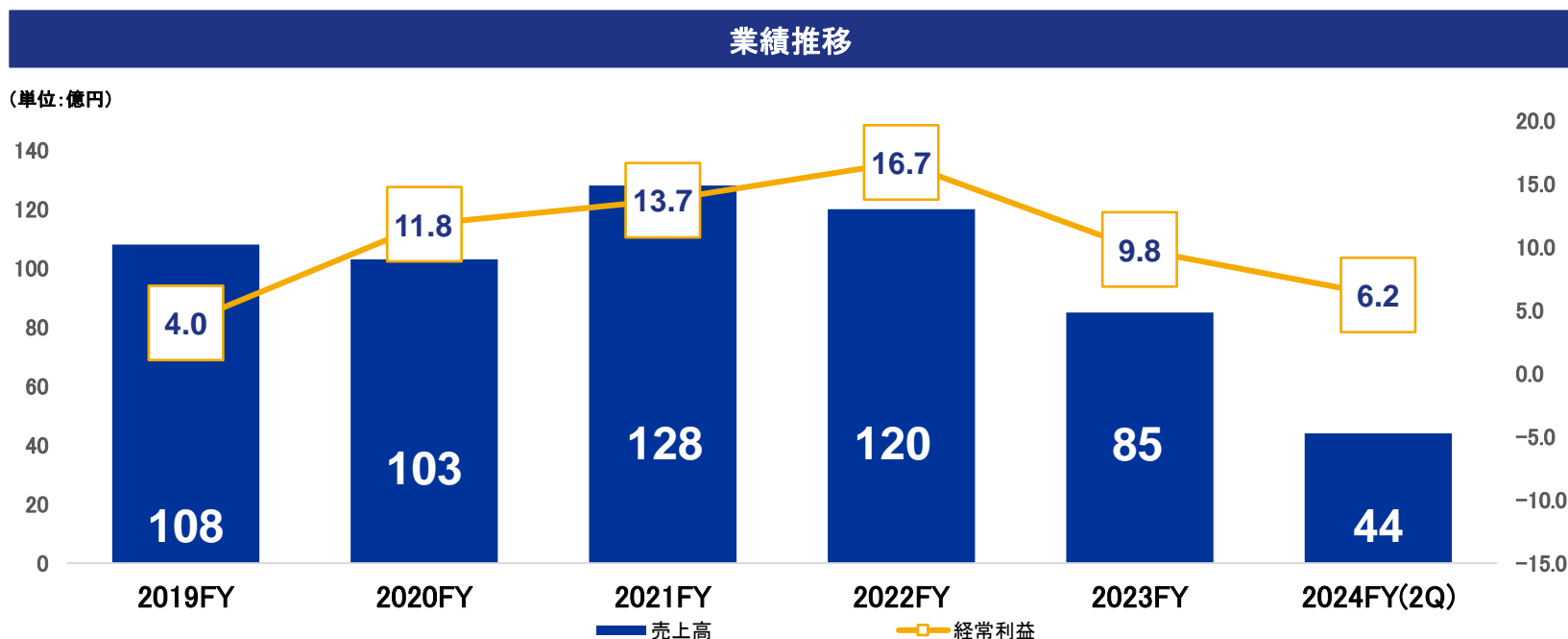
永年の一貫製造で培われた総合力・シナジーを背景に、成長する半導体関連市場へ



※精製(純化)技術・・・偏析法の一つであるペシネー法により、アルミニウムの純度を上げる世界でも有数の技術。

# 業績推移

強みである精製(純化)技術、低圧鋳物技術を活用し収益性の高い「IT器材」「半導体装置部材」へシフト



## 2022年度までの取り組み(①)

- 半導体製造装置向け需要を取り込むことで、IT器材事業(主としてALターゲット素材)、半導体装置部材事業(主として真空チャンパー素材)の比率が増大
- 収益性(付加価値)が限定的なピレット・スラブの販売を縮小したため、低付加価値な基礎素材事業の比率が減少

## 2023年度以降

- 高利益率化に向けた取り組みは、一定の効果が出始めるも、FY23は半導体市場の停滞と半導体装置部品の過剰在庫の影響により停滞
- FY24は過剰在庫の影響は残りながらも、消耗品であるALターゲットの回復によって損益は改善傾向

※ KMアルミニウム社の決算は3月決算です。FY24は、2025年3月期を示します。また、4月以降の早期に8月決算へ移行予定です。

# 4. M&A

## シナジー

### 1. 期待するシナジー

- ① KMAC社の加工強化および各処理能力向上で限界利益率と額の増大
  - ・ 営業利益率30%以上を狙える「IT器材」のアルミターゲット材とアルマイトの能力強化
  - ・ 素材が強みの「半導体装置部材」にマルマエの加工能力を加え高付加価値化
- ② 半導体装置メーカーへ、KMAC社素材とマルマエ加工能力を活かした完成品提案
- ③ 双方の技術と営業チャンネルを活かし、クロスセルで受注拡大

### 2. 今後の見通し

- ① 2025年4月8日 株式譲渡
- ② 2025年4月 PMIの一環として、営業・技術・製造・管理部門のプロジェクトチーム発足  
(当面は、既存取引先との関係維持のため営業情報・技術情報は相互に保護予定)
- ③ 2025年3Q KMAC社2025年4月分以降のPL連結(当期は5か月分PL反映)  
※KMAC社決算期も8月期に変更予定

私達は持続可能な経営を念頭に  
技術で社会貢献できる企業を目指します

# 注意事項

本資料に掲載された情報、及び、口頭によって説明された実現していない内容に関しては、ある一定の仮定の元に予想された見通しであり、マルマエ経営陣の判断など不確実要素を含んでおります。

本資料は、株主・投資家などの皆様にマルマエの現況と経営方針をご理解いただくために作成されたものであり、利用者に対して、当社株式の購入・売却など直接的な投資判断を提供するものではありません。投資に関する責任は負いません。

数値などの情報には注意をはらっておりますが、掲載の内容については未監査の数値も多く、確度を保証するものではありません。また、掲載された情報、またはその誤りについて、その理由に関わらず、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料に関するお問合せ先

株式会社マルマエ 管理本部管理部人事・企画課 IR担当

[ir@marumae.com](mailto:ir@marumae.com)

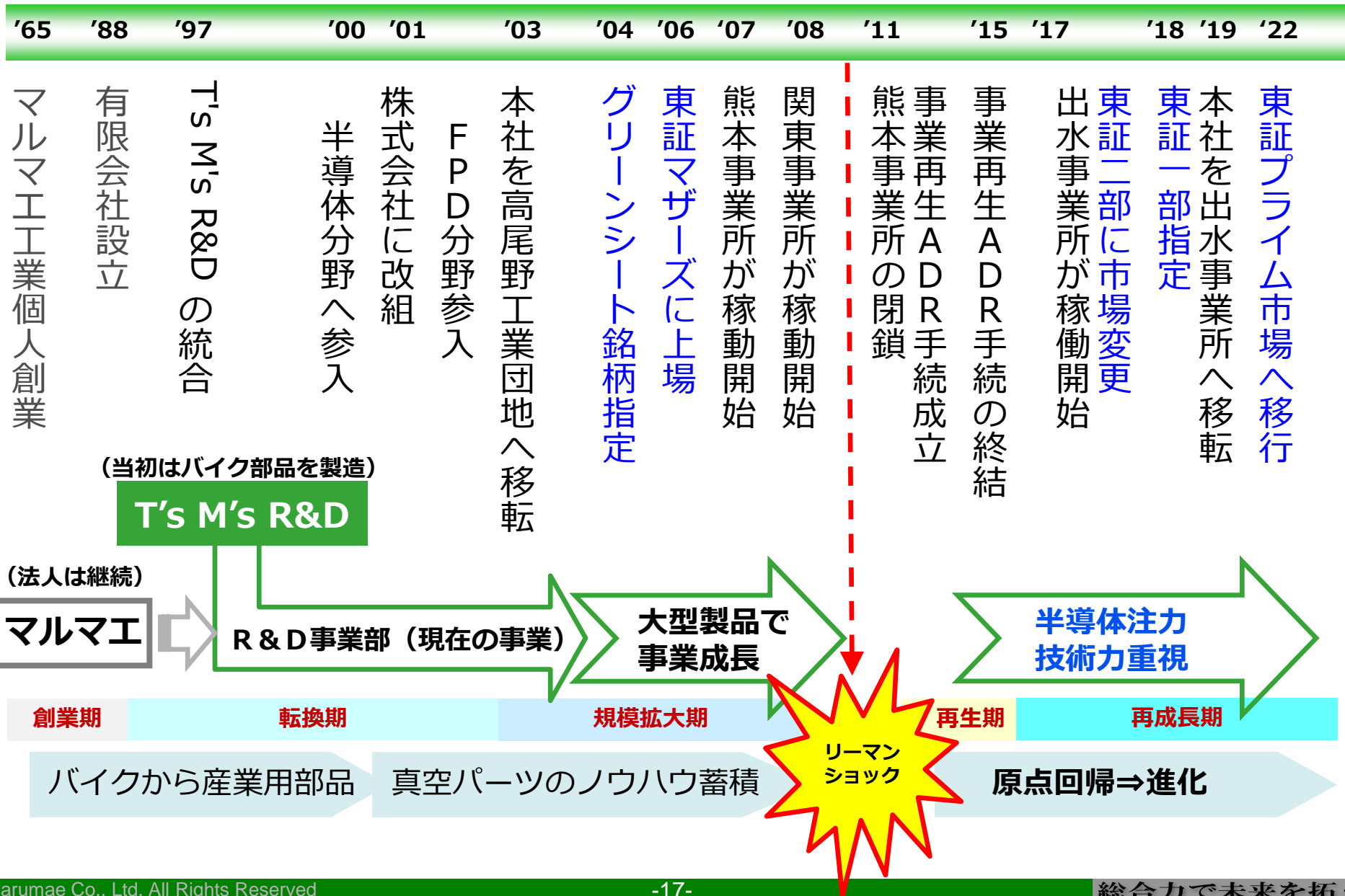
TEL 0996-68-1140 FAX 0996-68-1151



# Company Profile

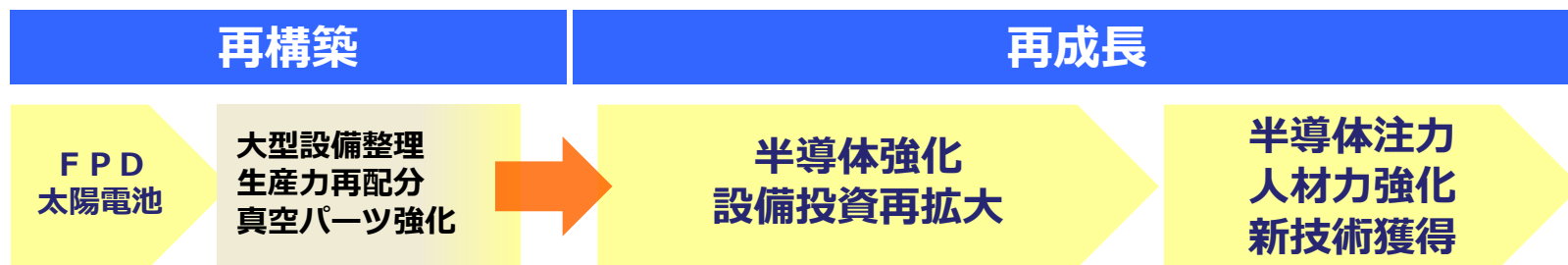
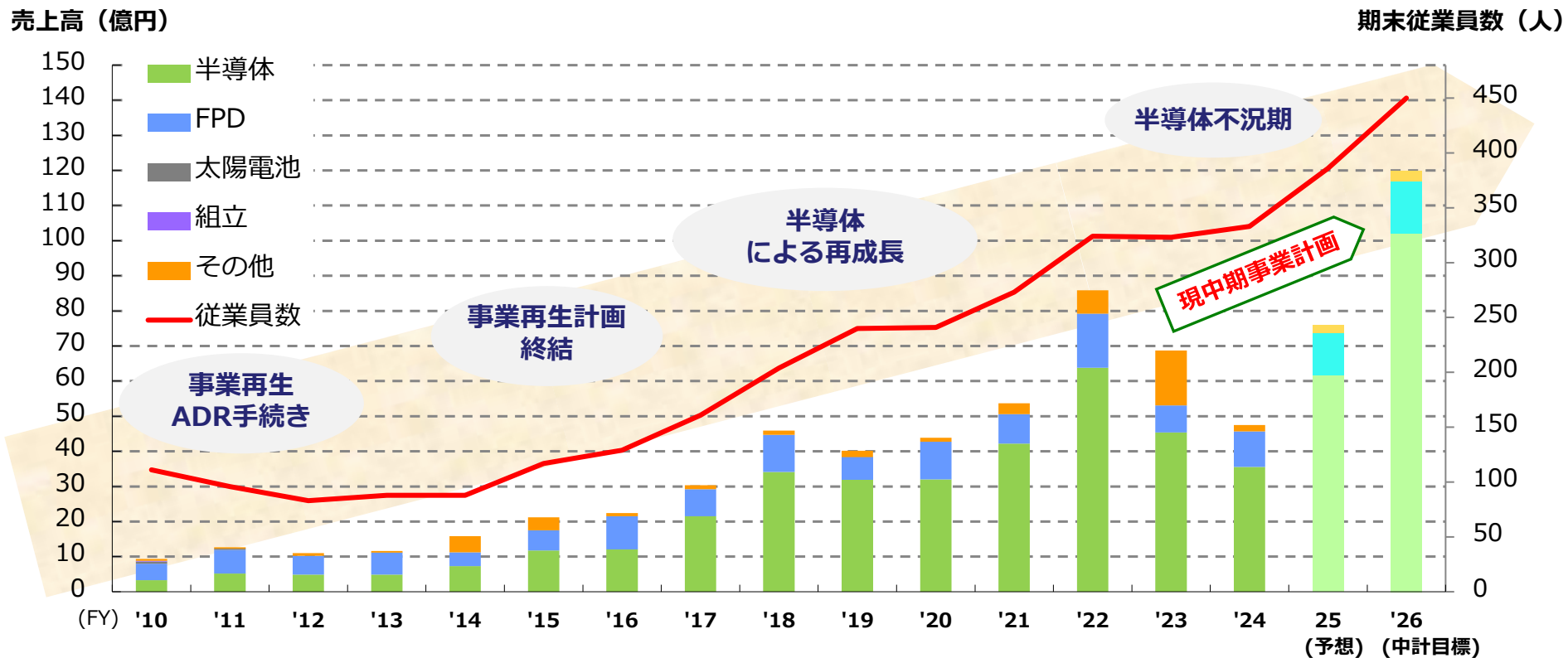
企業情報

# 参考資料（沿革と事業変遷）



# 参考資料（沿革と事業変遷）

## 事業成長と成長ドライバー



# 参考資料（現在の事業内容）

## 主要工程・主要製品

当社製品は半導体・FPD製造装置の心臓部を支えています

### 主要工程（半導体）

エッチング  
CVD  
コータ/デベロッパ  
洗浄

### （FPD）

エッチング  
CVD  
コータ/デベロッパ  
スパッタ  
洗浄  
イオン注入

### 主要製品

真空チャンバー  
シャワーヘッド  
排気板  
静電チャック  
ヒーター類  
上部電極  
ターゲット  
搬送系パーツ類  
各種真空パーツ類

※画像はイメージです

# 参考資料（会社概要）

会社名	株式会社マルマエ（Marumae Co., Ltd.）	
設立	1988年10月	
資本金	12億4,115万円（2025年2月28日現在）	
役員	代表取締役社長 前田 俊一 取締役 海崎 功太      取締役（監査等委員） 外西 啓治 取締役 安藤 博音      取締役（監査等委員） 桃木野 聡 取締役 門田 晶子      取締役（監査等委員） 山本 隆章 取締役 世耕 久美子    取締役（監査等委員） 宮川 博次	
従業員数	347名 うち 臨時雇用者等 150名（2025年2月28日現在） 他 派遣社員52名	
所在地	出水事業所      〒899-0216 （本社）      鹿児島県出水市大野原町2141番地  高尾野事業所    〒899-0401 鹿児島県出水市高尾野町大久保3816番41  関東事業所      〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町2-17-15	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精密機械、精密機器の設計、製造、加工、組立</li> <li>・精密機械部品の設計及び製作</li> <li>・産業及び医療機械器具の設計、製造、販売</li> <li>・精密機械部品及び機械装置の点検、修理</li> <li>・ソフトウェアの開発、販売    ・製缶工事    ・配管工事</li> <li>・運送業務    ・不動産の賃貸</li> </ul>	
経営理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術は究極を目指し</li> <li>・競争と協調を尊び</li> <li>・技術注力企業として社会に貢献する</li> </ul> <p>経済を支える“モノづくり”の中で、モノづくりの源流である部品加工にこだわっていきます。そして、さまざまな分野で総合メーカーを支えられる企業となるために先端技術と供給力を持つ部品加工のリーディングカンパニーを目指します。</p>	

発行済株式総数	13,053,000株	
単元株式数	100株	
株主総数	10,564名	
大株主 （普通株式）	前田 俊一	4,840,311株
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	999,200株
	前田 美佐子	504,000株
	NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MAGIN（CASHPB）【常任代理人】	279,000株
	前田 良子	180,000株
	五十嵐 光栄	169,000株
	THE NOMURA TRUST AND BANKING CO., LTD. AS THE TRUSTEE OF REPURCHASE AGREEMENT MOTHER FUND（常任代理人）	167,000株
	BNP PARIBAS LUXEMBOURG/2S/JASDEC SECURITIES/UCITS ASSETS（常任代理人）	146,027株
	マルマエ共栄会	108,000株
	NOMURA PB NOMINEES LTD THEORIA MULTI-STRATEGY MASTER FUND（常任代理人）	104,800株
（注）自己株式が390,706株あります。		
（2025年2月28日現在）		